

安全データシート

1. 化学品および会社情報

品名：スパントル用補修塗料 - 主剤 (ホルト A・ゾウケ A・シルバ A・ステン A・アソバ A)

社名：フジ化学工業株式会社

担当：メンテナンス部

住所：福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585

TEL : 0776-38-8031 FAX : 0776-38-8404

作成：2008年10月30日 改定：2017年8月7日

2. 有害危険性の要約

<GHS 分類>

物理化学的危険性：

- ・ 引火性液体：区分 2
- ・ その他の項目については、区分外、分類対象外、または分類できない。

健康に対する有害性：

- ・ 急性毒性（吸入）：区分 4（蒸気・粉じん・ミスト）
- ・ 皮膚腐食性または刺激性：区分 2
- ・ 眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性：区分 2
- ・ 発がん性：区分 2
- ・ 生殖毒性：区分 1
- ・ 特定標的臓器毒性（単回ばく露）：
区分 1 -呼吸器系、中枢神経系、腎臓、肝臓- 区分 3 -麻酔作用-
- ・ 特定標的臓器毒性（反復ばく露）：
区分 1 -呼吸器系、神経系-
区分 2 -肺-
- ・ その他の項目については、区分外、分類対象外、または分類できない。

環境に対する有害性

- ・ 水生環境有害性（急性）：区分 2
- ・ 水生環境有害性（長期間）：区分 2
- ・ オゾン層への有害性：分類できない。

<GHS ラベル要素>

絵表示：炎 / 感嘆符 / 健康有害性 / 環境有害性

注意喚起語：危険

危険有害性情報：

- [H225] 引火性の高い液体および蒸気
- [H332] 吸入すると有害。
- [H314] 皮膚刺激。
- [H319] 強い眼刺激。
- [H351] 発がんのおそれの疑い。
- [H360] 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。

- [H370] 臓器（呼吸器系、中枢神経系、腎臓、肝臓）の障害。
- [H336] 眠気またはめまいのおそれ。
- [H372] 長期にわたるまたは反復ばく露による臓器（呼吸器系、神経系）の障害。
- [H373] 長期にわたるまたは反復ばく露による臓器（肺）の障害のおそれ。
- [H401] 水生生物に毒性。
- [H411] 長期継続的影響により水生生物に毒性。

<注意書き>

安全対策：

- [P201] 使用前に取り扱い説明書を入手する。
- [P202] すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わない。
- [P210] 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざける。禁煙。
- [P233] 容器を密閉しておく。
- [P235] 涼しいところに置く。
- [P240] 容器を接地し、アースを取る。
- [P241] 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用する。
- [P242] 火花を発生させない工具を使用する。
- [P243] 静電気放電に対する措置を講じる。
- [P260] 粉じん、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。
- [P264] 取り扱い後は、手を良く洗う。十分にうがいをする。
- [P270] この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしない。
- [P271] 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
- [P273] 環境への放出を避ける。
- [P280] 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。

応急措置：

- [P370+P378] 火災の場合、消火するために二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂、噴霧状水を使用する。
- [P304+P340] 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- [P302+P352] 皮膚についた場合、多量の水と石けんで洗う。
- [P332+P313] 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。
- [P362+P364] 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする。
- [P305+P351+P338] 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ[®]を着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
- [P337+P313] 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受ける。
- [P308+P313] ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡する。
- [P312] 気分が悪いときは、医師に連絡する。
- [P301+P310] 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡する。
- [P391] 漏出物を回収する。

保管：

- [P403] 換気の良い場所で保管する。
- [P405] 施錠して保管する。

廃棄：

- [P501] 内容物や容器を廃棄する場合は、許可を受けた専門の業者に処理を委託する。

3. 組成および成分情報

化学品または混合物の区別：混合物

成分および含有量：

成分	CAS No.	含有率 (%)	補足事項
エチルベンゼン	100-41-4	14	
キシレン	1330-20-7	11	
酢酸ノルマルブチル	123-86-4	10-20	
酢酸エチル	141-78-6	1-5	
ポリイソシアネート	特定できない	10-20	
ポリアクリレート	特定できない	20-30	
ミネラルスピリット	8052-41-3	1-5	シルバ、ステン、アンバに含有。
ノルマルブチルアルコール	71-36-3	0.1-1	シルバ、ステン、アンバに含有。
シクロヘキサノン	108-94-1	0.1-1	ホワイト、ゾウゲに含有。
酸化チタン	13463-67-7	20-30	ホワイト、ゾウゲに含有。
アルミニウム	7429-90-5	1-5	シルバ、ステン、アンバに含有。
カーボンブラック	1333-86-4	0.1-1	ステンに含有。

4. 応急措置

吸入した場合：

蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは医師に連絡する。

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。

直ちに医師に連絡する。おう吐物は飲み込ませないようにする。

皮膚に付着した場合：

付着物を布で素早く拭き取る。大量の水と石けんを使って十分に洗い落とす。溶剤やシンナーは使用しない。

外観の変化や皮膚の痛み、刺激がある場合や、気分が悪い場合には医師の診察、手当を受ける。

眼に入った場合：

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。

まぶたの裏まで完全に洗う。できるだけ早く医師に連絡する。

飲み込んだ場合：

誤って飲み込んだ場合には、安静にし、直ちに医師の診察、手当を受ける。

おう吐物は飲み込ませないようにする。医師の指示による以外は無理に吐き出させない。

応急措置をする者の保護：

適切な保護具（保護眼鏡、保護マスク、手袋等）を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤：二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂、霧状強化液。

使ってはならない消火剤：水（棒状の水、高圧水）

特有の消火方法・消火を行う者の保護：

適切な保護具（耐熱性着衣等）を着用する。消火活動は風上から行う。
可燃性のものを周囲から取り除く。高温にさらされる密閉容器には水をかけて冷却する。
指定された消火剤を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、EPA ロン、ゴーグル等）を着用する。
屋内では換気をしっかり行う。
屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
周辺を立入禁止にして、関係者以外を近づけないようにして、二次災害を防止する。
付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項：

下水や河川等に排出されないように注意する。

封じ込め、および浄化の方法、機材：

漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関連法令に基づいて処置すること。
乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸着させて回収する。
大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

換気のよい場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入ったりしないよう適切な保護具を着用する。
取り扱い後は、手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まない。
密封した場所での作業には、十分な局所排気装置をつけ、適切な保護具を着用して作業をする。
使用済み缶、塗料缶、スプレー缶等は廃棄まで水につけておく。
周囲で、火気、スパーク、高温物等の使用を禁止する。
工具は火花防止型を使用する。
静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。

保管：

日光の直射をさける。
通風の良いところに保管する。
盗難防止のために施錠保管する。
子供の手の届かないところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. ばく露防止および保護措置

設備対策：

取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれていない設備とする。

屋内塗装作業の場合には、自動塗装機を使用するなど、作業者が直接ばく露を受けない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にする。

タワ内部などの密閉場所などで作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気ができる装置を取り付ける。

装置は耐腐食性のある材質を用いて造る。

腐食性物質に作業者が直接触れたり、吸入したりしないように配慮する。

取扱設備は防爆型を使用する。

液体の輸送、くみ取り、攪拌などの装置についてはアースをとるように設備する。

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。

呼吸系の保護具：密閉された場所では送気マスク着用。有機ガス用防毒マスク着用。

手の保護具：有機溶剤、または化学薬品が浸透しない手袋着用。

眼の保護具：保護メガネ着用。

皮膚及び身体の保護：皮膚を直接さらさない衣類着用。化学品が浸透しない材質が望ましい。

管理濃度：

エチルベンゼン 20ppm キシレン 50ppm 酢酸エチル 200ppm

酢酸ノルマルブチル 150ppm ノルマルブチルアルコール 25ppm シクロヘキサノン 20ppm

許容濃度（産業衛生学会）：

エチルベンゼン 50ppm キシレン 50ppm 酢酸エチル 200ppm

酢酸ノルマルブチル 100ppm ノルマルブチルアルコール 50ppm シクロヘキサノン 25ppm

許容濃度（ACGIH-TWA）：

エチルベンゼン 10ppm キシレン 100ppm 酢酸エチル 400ppm 酢酸ノルマルブチル 150ppm

ミネラルスピリット 100ppm ノルマルブチルアルコール 20ppm カーボンブラック 0.1mg/m³ アルミニウム 10 mg/m³

シクロヘキサノン 20ppm 酸化チタン 10 mg/m³

9. 物理的および化学的性質

外観：液体。

臭い：強い溶剤臭。

比重：1.0-1.3

溶解性：水に不溶。有機溶剤に可溶。

沸点：77-144℃

蒸気圧：2,000Pa（25℃）

引火点：11℃

発火点：370℃

燃焼・爆発範囲：1.1-15.0%

10. 安定性および反応性

接触により危険のある物質：酸化剤

避けるべき条件：高温を避ける。衝撃や振動を与えない。

危険有害な分解生成物：高温や燃焼により、一酸化炭素、低分子のモノマー等の等の有害なガスが生じる。

その他の反応性情報：高温で反応する。

11. 有害性情報

急性毒性：

(エチルベンゼン)

- (経口) - (ラット LD50) 3,500mg/kg
- (経皮) - (ウサギ LD50) 15,400mg/kg
- (吸入・蒸気) - (ラット LC50) 4,000ppm (4hrs)

(キシレン)

- (経口) - (ラット LD50) 3,608mg/kg
- (経皮) - (ウサギ LD50) 14,100mg/kg
- (吸入・蒸気) - (ラット LC50) 4,330ppm (6hrs)

(酢酸エチル)

- (経口) - (ラット LD50) 4,940mg/kg
- (吸入・蒸気) - (ラット LC50) 13,856ppm (4hrs)

(酢酸ノルマルブチル)

- (経口) - (ラット LD50) 14,130mg/kg
- (経皮) - (ウサギ LD50) >5,000mg/kg
- (吸入・蒸気) - (ラット LC50) 2,000ppm (4hrs)

(ミネラルスピリット)

- (経口) - (ラット LD50) >5,000mg/kg

(ノルマルブチルアルコール)

- (経口) - (ラット LD50) 2,100mg/kg
- (経皮) - (ラット LD50) 3,400mg/kg

(シクロヘキサノ)

- (経口) - (ラット LD50) 1,296mg/kg
- (経皮) - (ラット LD50) 947mg/kg
- (吸入・蒸気) - (ラット LC50) 2,450ppm (4hrs)
- (吸入・粉じん) - (ラット LC50) 8,000ppm (4hrs)

(酸化チタン)

- (経口) - (ラット LD50) 20,000mg/kg
- (経皮) - (ラット LD50) 10,000mg/kg

(カーボンブラック)

- (経口) - (ラット LD50) 8,000mg/kg

皮膚腐食性または皮膚刺激性：

(エチルベンゼン) 区分 2B (キシレン) 区分 2 ((酢酸ノルマルブチル) 区分 3 (ミネラルスピリット) 区分 2
(シクロヘキサノ) 区分 2

眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性：

(エチルベンゼン) 区分 2B (キシレン) 区分 2A (酢酸エチル) 区分 2B (酢酸ノルマルブチル) 区分 2B
(ノルマルブチルアルコール) 区分 2A (シクロヘキサノ) 区分 2A (酸化チタン) 区分 2B

発がん性：(エチルベンゼン) 区分 2 (カーボンブラック) 区分 2

生殖毒性：(キシレン) 区分 1B (エチルベンゼン) 区分 1B (シクロヘキサノ) 区分 2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)：

(エチルベンゼン) 区分 2-中枢神経系- 区分 3-気道刺激性-

(キシレン) 区分 1-肝臓・呼吸器・腎臓・中枢神経系- 区分 3-麻酔作用-

(酢酸エチル) 区分 3-気道刺激性・麻酔作用-

(酢酸ノルマルブチル) 区分 2-呼吸器・中枢神経系-

(ミネラルスピリット) 区分 3-気道刺激性・麻酔作用-

(ノルマルブチルアルコール) 区分 3-気道刺激性・麻酔作用-

(シクロヘキサノ) 区分 2-中枢神経系- 区分 3-麻酔作用-

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)：

(キシレン) 区分 1-呼吸器・神経系-

(ミネラルスピリット) 区分 2-肝臓・精巣-

(カーボンブラック) 区分 1-肺-

(アルミニウム) 区分 1-肺-

(シクロヘキサノ) 区分 1-中枢神経系・骨-

吸引性呼吸器有害性：

(エチルベンゼン) 区分 1 (キシレン) 区分 2 (ミネラルスピリット) 区分 1

12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)：

(エチルベンゼン) 区分 1 (キシレン) 区分 2 ((酢酸ノルマルブチル) 区分 3 (ミネラルスピリット) 区分 1

水生環境有害性 (長期間)：(キシレン) 区分 2 (ミネラルスピリット) 区分 1 (アルミニウム) 区分 4

ワゴン層への有害性：いずれの成分も分類できない。

残留性・分解性・生体蓄積性：情報なし。

他の有害影響：

環境中に排出されると影響を与えるおそれがあるので、本品のほか、本品を使った器具等を洗浄したときの排液等は下水や河川等に排出しない。

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関廃棄上の注意 連法規並びに地方自治体の基準に従う。

内容物、容器、本品を使用した器具等、器具を洗浄したときの排液等は、許可を受けた業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制：

国連番号 1263

指針番号 128

国連輸送名 塗料 (Paint)

国連分類 Class 3

容器等級 II

国内規制：消防法、労働安全衛生法、船舶安全法、航空法の定めるところに従う。

安全対策：

取り扱いおよび保管上の注意の項に従う。

転倒、落下ならびに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物劇物取締法：該当しない。

消防法：危険物第四類第一石油類（非水溶性）

労働安全衛生法：

施行令別表 1-4（引火性のもの）

有機溶剤中毒予防規則

第二種有機溶剤等（キシレン、酢酸エチル、酢酸ノルマルブチル、ノルマルブチルアルコール、シクロヘキサノン）

第三種有機溶剤等（ミネラルスピリット）

特定化学物質障害予防規則 第二類物質 特定有機溶剤等（エチルベンゼン）

労働安全衛生法施行令別表第九

（エチルベンゼン、キシレン、酢酸エチル、酢酸ノルマルブチル、ミネラルスピリット、シクロヘキサノン、酸化チタン、カーボンブラック）

化学物質管理促進法：

第一種指定化学物質（エチルベンゼン、キシレン）

16. その他の情報

参考資料

- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
- ・ 化学工業日報社 15307 の化学商品

本書の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで、使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。